

平成16年7月新潟・福島豪雨から20年

7・13水害

20年プロジェクト

始動。



7.13水害
20年プロジェクト

7.13 FLOOD DISASTER
20th PROJECT

後世に伝えて地域の安心・安全に活かす

信濃川流域に甚大な被害をもたらした平成16年7月新潟・福島豪雨（7・13水害）から令和6年に20年の節目を迎えます。この間、各地域でハード面・ソフト面の様々な防災に関する取り組みの推進により、地域の安全・安心は着実に向上している一方近年の気候変動に伴う災害の激甚

化・頻発化により、災害の危険性はますます増加しています。このため、この20年の節目を契機として、改めて「7・13水害」から得られた教訓と防災技術を風化させることなく後世に伝え、安全・安心な地域づくりに活かすことを目的として「7・13水害20年プロジェクト」を実施します。



プロジェクト 01 7.13水害20年シンポジウム

開催日 令和6年8月25日(日) 13:00~16:20

開催場所 見附市中央公民館

- 講演①「最近見られる四季折々の気象状況と台風や集中豪雨時にやるべきこと」
講師：樋ノ浦 重剛 (BSN新潟放送 技術部長/気象予報士)
- 講演②「災害時報道とその裏側 ~あの時が起きているのか~」
講師：酒田 暁子 (BSN新潟放送 報道部長/防災士)
- パネルディスカッション:
見附市長、地域団体代表らによる7.13水害の教訓とこれからの防災の取り組みについて
- アトラクション: 越後見附太鼓による演奏

同時開催 令和6年8月25日(日) 9:00~16:20
パネル展示、災害体験コーナー(降雨体験)など

プロジェクト 03 巡回パネル展

7.13水害に関する写真や気象情報などの記録について、信濃川下流域の公共施設や商業施設を巡回展示します。展示を通して水害の歴史や治水・防災のことについて学び、災害の記憶の伝承と防災意識の向上を図ります。

展示期間 令和6年5月~11月頃

プロジェクト 04 スタンプラリー

7.13水害や治水・防災に関する施設を巡り、スマートフォンなどでQRコードを読み込ませる事でスタンプゲット。全て集めたら、君も水防博士!

開催日 令和6年6月~10月頃

- チェックポイント
- 三条市水防学習館 ● 五十嵐川水害復興記念公園
 - 笠堀ダム ● 道の駅「パティオにいがた」 ● 刈谷田川ダム
 - 蒲原大堰 ● 中ノ口川水門 ● まちの駅「ネーブルみつけ」
 - 大谷ダム ● 五十嵐川遊水地...など

※各イベントの詳細は、別途ホームページ等でお知らせします。

プロジェクト 02 インフラバスツアー

7.13水害の被災箇所や治水に関する施設などを巡り、水害や治水に関する理解を深め、洪水に対する防災意識の高揚を図る半日のバスツアー。

開催日、コース **五十嵐川コース** 令和6年10月6日(日)

三条市水防学習館、遊水地、五十嵐川水害復興記念公園、大谷ダム...など

刈谷田川コース 令和6年10月27日(日)

道の駅パティオにいがた、田んぼダム、遊水地、刈谷田川ダム...など

募集 各コース定員20名



『7.13水害20年プロジェクト』ロゴのコンセプト

- 守門岳・粟ヶ岳の山地をイメージ
- 山から流れる攻撃的な水をイメージ
- ダム・堤防および、水害から人・街を守るものと取り組みをイメージ
- 攻撃的ではなくなった水をイメージ
- 「7.13」の黒色部分で「川」を表現
- 災害の教訓・緊張感を促すための角のある硬い字体

7.13水害20年プロジェクトを多くの方々と一緒に推進するためにロゴマークを作成しました。**パネルや刊物、ホームページ等でぜひご利用ください。**データのダウンロード、利用規約は「7.13水害20年プロジェクト特設ホームページ」をご覧ください。

・特設ホームページ <https://www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/713suigai20th/713top.html>

主催 7.13水害20年プロジェクト実行委員会

見附市、三条市、新潟市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、新潟県土木部・三条地域振興局地域整備部、長岡地域振興局地域整備部、新潟地域振興局地域整備部、新潟地域振興局新津地域整備部、信濃川下流河川事務所

問い合わせ 7.13水害20年プロジェクト実行委員会 事務局

(国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 流域治水課)

〒951-8153 新潟県新潟市中央区文京町14-13 TEL:025-266-7319 FAX:025-231-2043 <https://www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/>



7.13水害20年プロジェクト特設HP



防災・減災にいがたプロジェクト 2024

7.13水害 キオク MAP

✕ 決壊箇所
7.13水害浸水範囲



01 三条市水防学習館

水害の教訓を学び、防災について考えることができる学習館。浸水による水压体験や、雨と音と映像による水害再現シアターなどがあります。

住所：三条市上須領167番地1 TEL:0256-35-6520



02 五十嵐川水害復興記念公園

7.13水害における五十嵐川の堤防決壊地に整備された公園。五十嵐川の治水に尽力した先人「松尾与十郎」の銅像もあります。

住所：三条市諏訪1丁目地内



03 五十嵐川遊水地

7.13水害を上回る総雨量を記録した、平成23年の洪水を機に整備され、約180万㎡の洪水を貯留することができます。野鳥の観察スポットとしても人気です。

住所：三条市月岡・諏訪地区



04 大谷ダム

平成5年に完成した多目的ダム。洪水調節と流水の維持、上水道用水の確保を目的としています。

住所：三条市大谷171-2



05 笠堀ダム

洪水調節、上水道や農業用水の安定供給、そして水力発電を目的に、昭和39年9月に完成。7.13水害で効果を発揮し、平成23年の豪雨を経て4m嵩上げされました。

住所：三条市笠堀字川前162



06 道の駅「パティオにいがた」

7.13水害における刈谷田川氾濫の記憶を忘れる事なく、防災意識を高めるために、被害状況の写真や田んぼダム・遊水地等の防災対策を紹介。

住所：見附市今町1丁目3358 TEL:0258-94-6211



07 '04中之島記念公園

刈谷田川の堤防決壊地の土上側に整備された公園。水害が発生した7月13日には犠牲者を追悼する献花台が設置されます。刈谷田川を眺望できるスポット。

住所：長岡市中之島198-7



08 刈谷田川遊水地

7.13水害をきっかけに6つの遊水地を整備。既存の堤防を下げて越流させる方式としては全国初。普段は農地として利用されています。



09 刈谷田川ダム

昭和39年7月の集中豪雨をきっかけに整備されたダム。現地には7.13水害時の貯水位が記録されています。

住所：長岡市栢塚7297-3



10 蒲原大堰

中ノ口川水門と一体的に操作することにより、洪水から地域を守っています。越流ゲートと非越流ゲートの2種類のゲートで信濃川に流す水量を調節しています。

住所：燕市道金地先



11 中ノ口川水門

中ノ口川に流す水量を調節し、洪水から地域を守るとともに、農業用水を適正に供給し、日本有数の米どころを支えています。7.13水害時も中ノ口川に流す水量を調節しました。

住所：燕市道金地先



川の防災を学ぼう！

A 関屋分水資料館



関屋分水工事や、関屋分水がなければ洪水の時どうなるのかなど、パネル等で紹介しています。
TEL:025-267-6857

B 信濃川大河津資料館



明治29年の横田切れや、大河津分水がなかった場合の浸水動画、100年前のトロッコなどを展示しています。
TEL:0256-97-2195
休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)

C にとこみえ〜る館



大河津分水路を拡げる工事「令和の大改修」について、模型やタブレットなどで紹介しています。
TEL:0258-89-7105
休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)

洪水に備える！ 河川防災 ステーション

日頃は公園や憩いの場として、非常時は避難場所や水防活動・緊急復旧活動の拠点として機能します。



D 天野



F 三条



E 赤渋



G 長岡地区